ギリシャ概況（2018 年 10 月号）

1．内政

・2 日　ディミトリス・カメノス無所属議員がバルタコス元内閣秘書官と共に新党「ギリシャ人の力」を結成した。
・17 日　コジアス外相が辞表を提出し、チプラス首相がこれを受理した。
・19 日　外務省にてコジアス前外相からチプラス首相への外相引き継ぎ式が行われた。

2．外政

・1 日　カメノス国防相がキプロスを訪問し、アナスタシアディス大統領と会談した他、キプロスの独立５８周年を祝うパレードに出席した。
・2 日　シェフチョヴィチ欧州委員会副委員長エネルギー連合担当がギリシャを訪問し、チプラス首相と会談した。
・3 日　クレツ欧州委員地域政策担当がギリシャを訪問し、チプラス首相と会談した。
・8 日　コジアス外相が第3回地中海連合閣僚会合（於：バルセロナ）に出席した。
・10 日　チプラス首相が第6回ギリシャ・キプロス・エジプト三か国首脳会合（於：クレタ島）に出席した。
・10～12 日　シュタインマイヤー独大統領がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領、チプラス首相及びミツォタキスND党首と会談した。
・10～14 日　カメノス国防相が米国を訪問し、マティス国防長官等と会談した。
・12 日　ミュラー独経済協力・開発大臣がレスボス島を訪問し、モリアの移民受け入れセンターを視察した。
・同日　ウリアノフスキ・モルドヴァ外相がギリシャを訪問し、コジアス外相と会談した。
・同日　ツァカロトス財務相がIMF・世界銀行の年次総会（於：バリ島）に出席した。更に本会合のマージンにて、ラガルド IMF 専務理事と会談した。
・15 日　李小鵬中国交通運輸部部長がギリシャを訪問し、クヴェリス海運・島嶼政策大臣と会談した。
・同日　コジアス外相がEU外相会合（於：ルクセンブルク）に出席した。
・17 日　ミツォタキスND党首がブリュッセルを訪問し、ユンカー欧州委員会委員長と会談した。
・18 日　チプラス首相がEU首脳会合及びアジア欧州会合（於：ブリュッセル）に出席した。更に本会合のマージンにて、ドラギ欧州中央銀行総裁、ナイドゥ・インド副大統領及びカラ・インドネシア副大統領と会談した。
・22 日　ギリシャがクック諸島と外交関係を樹立した。
・23 日　カメノス国防相が仏を訪問し、パルリ国防相と会談した。

・28 日　マッタレッラ伊大統領がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領と共にギリシャの第二次世界大戦参戦記念日式典等に出席した。
・29 日　エルムッラー・エジプト石油大臣がギリシャを訪問し、スタサキス環境エネルギー大臣と会談した。
・29～30 日　ギリシャが第3回「世界EU・アラブサミット」（於：アテネ）を開催した。本会合には計30以上の国・機関の首脳、閣僚、学者、影響力のあるビジネスリーダー及び代表者が出席した。更に本会合のマージンにて、チプラス首相はギリシャ・キプロス・ブルガリア三か国首脳会合に出席したほか、アナスタシアディス・キプロス大統領と二国間会談を実施した。また、ミツォタキス ND 党首も「ア」キプロス大統領と会談した。
・29～30 日　カメノス国防相が露を訪問し、ショイグ国防相と会談した。
・31 日　カメノス国防相がカタールを訪問し、アル・アティーヤ副首相兼防衛担当と会談した。

3. 移民・難民問題

9 月には海を渡ってギリシャに到着する移民・難民の数がピークに達し、4,000 名となった。更に、エヴロス川経由で入国する者の数が 1,400 名に増加した。ギリシャ政府は本土における収容施設の増設及び島嶼部から本土への移送の数を増加しているが、過密状態を緩和し、状況の改善を図るにはより多くの者を本土へ移送する必要がある。

9 月 30 日現在　ギリシャに滞在する移民・難民は 64,900 名（UNHCR 発表）。

4. 経済

（1）経済動向
・1 日　来年1月1日に予定されている年金削減を実施する場合としない場合の2通りの2019年度の予算案が国会に提出された。
・15 日　ギリシャ政府が2019年度の予算案を欧州委員会に提出した。
（2） 財政

ギリシャ財務省が 10 月 24 日付で公表した 1 月から 9 月の財政統計によると、1 月から 9 月の財政収支は 2 億 7,800 万ユーロの黒字、同期間のプライマリーバランスは 47 億 9,500 万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は 372 億 1,400 万ユーロで政府目標を 5 億 7,600 万ユーロ（1.6%増）上回り、歳出は 369 億 3,600 万ユーロと政府目標より 15 億 4,300 万ユーロ低く抑えられた。

（3） 輸出入

ギリシャ統計局の 10 月 8 日付の発表によると、8 月の輸入総額は 44 億 6,190 万ユーロ（前年同月比 20.6%増）、輸出総額は 25 億 4,280 万ユーロ（前年同月比 25.0%増）となった。

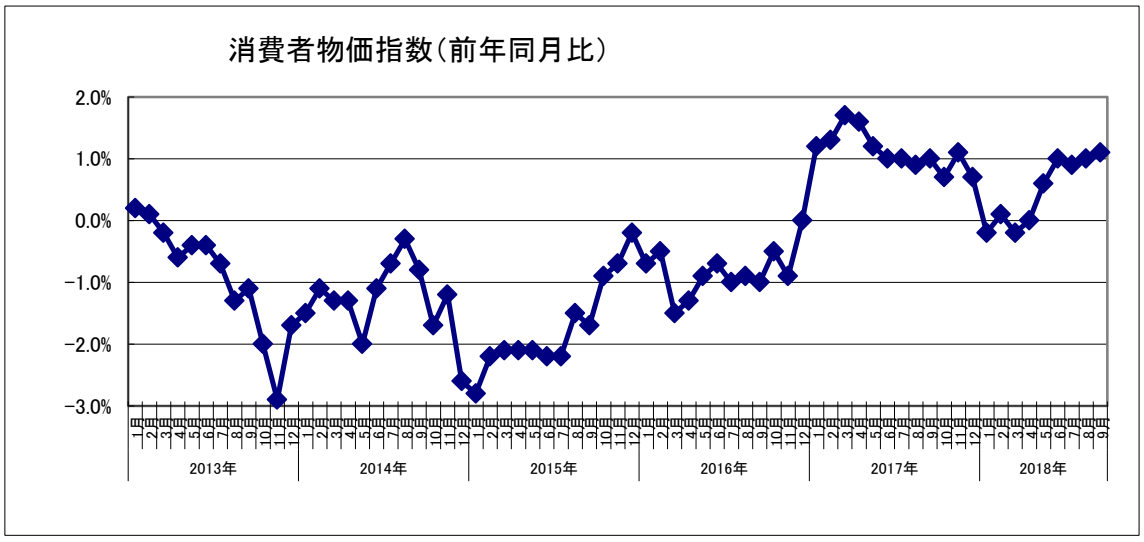
（4） 観光業

ギリシャ観光業協会（SETE）の発表によると、8 月の観光客は、367 万 2,926 人で、前年同月比 8.3%増となった（国内主要空港の観光客到着数（暫定値）ベース）。内訳は、アテネ空港が 76 万 7,548 人で（同 14.3%増）で、テサロニキ空港が 29 万 652 人（同 12.1%増）となった。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

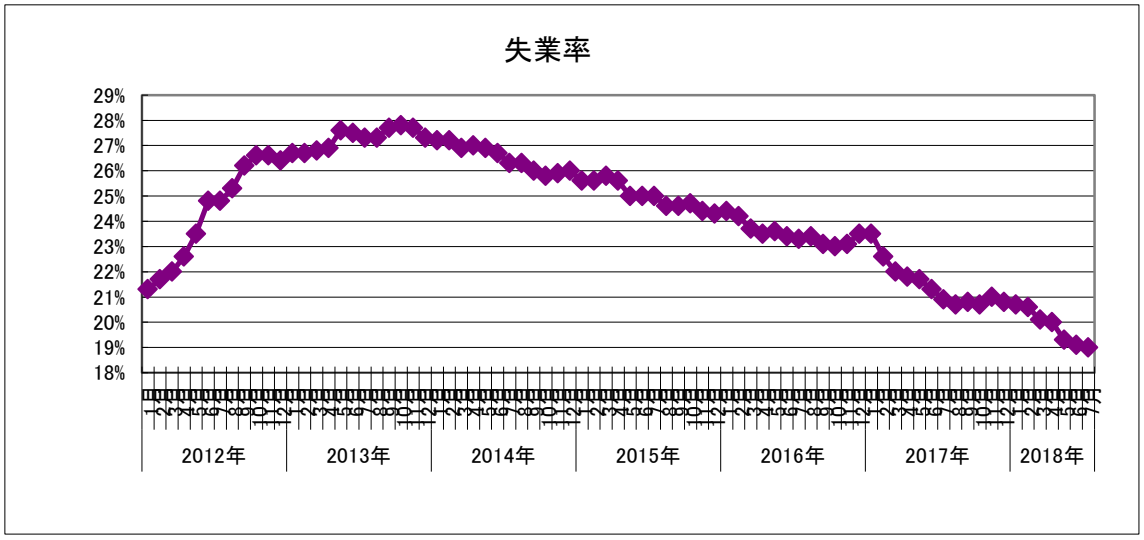
ギリシャ統計局の 10 月 10 日付の発表によると、9 月の消費者物価指数は前年同月比 1.1%増となった。



（出典：ギリシャ統計局）

(2) 失業率

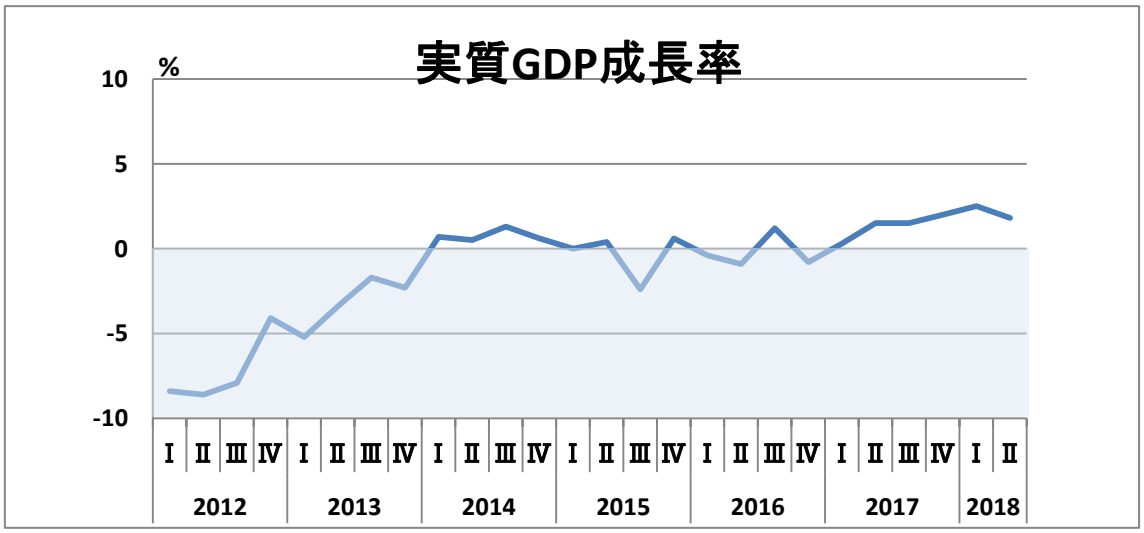
ギリシャ統計局の 10 月 11 日付の発表によると、7 月の失業率は 19.0%となり、前月から 0.1%減少した。



（出典：ギリシャ統計局）

(3) GDP

OECD のデータによると、2018 年第 2 四半期（4 月～6 月）の実質 GDP 成長率は前年同期比プラス 1.8%となった。



（出典：OECD）

※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

（了）